

the species *Sarothra laxa* (Blume) Y. Kimura from the species, *Sarothra japonica* (Thunb.) Y. Kimura, in my monograph "Hypericaceae" (1951). One can easily distinguish these two species by its character of the bracts: lanceolate in *S. japonica* and ovate in *S. laxa*. The figure of *Hypericum japonicum* drawn in Thunberg's Flora Iaponica (Fig. 1) leads to error in judgment by its ovate bracts which somewhat resembles those of *Hypericum laxum*. But the type specimen of *Hypericum japonicum* shows us lanceolate bracts as those described by Thunberg.

□Thomson, John W.: **Lichens of the Alaskan Arctic Slope.** xii+314 pp. 1979. Univ. of Toronto Press, Toronto. US \$35. アラスカの北斜面の Arctic Coast と呼ばれる地域で、著者自身 および Dr. A. J. Sharp ほか数名の 蘚苔地衣学者が、1958-74年に採集した地衣 504種が報告されている。属ごとに種の検索表が添えてあり、マニュアル方式で各種の記載文と分布が示されている。どちらかといえば伝統的な属の概念が踏襲されているのは、著者の温厚な人柄を反映しているためであろうか。冒頭に4頁分の写真があって、この地域の植生が推察できるほかは、各種についての図や写真は無い。しばしば引用される H. Krog 女史の *The Macrolichens of Alaska* (Norsk Polarinst. Skr., no. 144. 1968) と併せ見れば、アラスカの地衣類の全容がつかめる。(黒川 道)

□Edie, H. H.: **Ferns of Hong Kong** 285 pp. 1978, Hong Kong Univ. Press. 45ホンコンドル (送料込み)。香港は日本から東南アジア各地へ旅行する人にとって入口のような所で、たくさんの人がこの地を通過してまず熱帯植物に接する。面積の割に種類の数が多いといわれ、特にシダ類が豊富であることから、熱帯のシダを勉強する適地だとされている。香港といえば Bentham の有名な「香港のフロラ」があるが、これは120年ほど前に出版されたもので、その後断片的な論文は別として、まとまったフロラ誌はできていないようである。本書は著者が香港大学の学生にシダを講義した際のテキストを元にして作ったもので、専門の研究者にも初心者にも役立つようにできている。内容は、最初にシダ類概説があり、次に香港産シダ類176種の分類順の総目録、これには Holttum の分類系が採用されていて、香港関係の異名は出典まで掲げている。次が本書の大部分のページを占める種類解説で、分布やノート、それに部分図を主とした線画が付き、種の検索表も具わっている。最後に用語解説、中国名の表、索引がある。変 A5 の手ごろな判で、地図1, 写真15, 線画150がはいっていて楽しく、香港といわず熱帯・亜熱帯のシダに興味をもつ人にとって便利な書物である。

(伊藤 洋)